

未来に挑戦し続ける中堅・中小企業の経営者がいま語る ～元気企業の経営者の志がもたらす革新的ビジネスの展開～

会場案内図

The map illustrates the surrounding infrastructure of the UTeC campus. It highlights the J-R Ring Expressway (J R 大阪環状線) and National Route 2 (国道2号線). Train lines shown include the JR Toei Line (J R 東西線), Hanshin Electric Railway (阪神電車), and Osaka Metro (地下鉄四つ橋線). Landmarks such as the Osaka International Conference Center (大阪国際会議場), the Osaka International Conference Center, and the Osaka International Conference Center are marked. The map also shows the locations of the Osaka International Conference Center, the Osaka International Conference Center, and the Osaka International Conference Center.

新鋭経営会ホームページ : <http://www.new-ceo.jp>

開催趣旨

「新鋭経営会」は2012年4月に発足して、異業種の新進気鋭の中堅・中小企業経営者ならびに承継予定者（43社）で構成され、企業立地面からは東は東京、神奈川、長野から西は熊本まで多地域に広がっています。これまで、各社の現況紹介、専門家による経営・技術分野などの最新開発・研究の講演、企業見学会、企業共通の課題などに関するワーキンググループでの討議などの活動を続けています。そこでは多彩な経営者との出会いや相互触発の場が形成されていると評価されています。

これらの活動を通して、「より革新的で元気な企業を構築し、継続的生存と発展を実現するには、経営者には、いまだのような志・ミッションを持ち、どのようなビジネス・イノベーションに挑戦すべきか」などの企業経営のあり方について議論すると共に情報の共有を進めております。この種の課題に先導的な役割を試みている経営者の方々に本音の声を発信し、関連企業の経営者、また周辺領域企業の経営者、さらに産業界や社会にも貢献できるのではないかと狙いで、新鋭経営会ではフォーラムを企画し、これまで、大阪と東京で計7回のフォーラムを開催してきました。今回は花王(株)の藤井氏によるリスク学に関する特別講演に加え、ニューノーマル時代を迎えての新しい取組を積極的に推し進め、企業経営の新しい形を追求する4会員企業の代表者に講演して頂きます。

いずれの企業もそれぞれに特長ある経営に取り組んでおられ、多くの公的な表彰を受賞され、高く評価されています。このような背景からも、お話の内容は、単に中堅・中小企業の領域に留まらず、技術経営のあり方や将来を見据えた経営者としてのリーダーシップのあり方など、中小企業のみならず大企業の方々にも寄与するところが大きいものと推測されます。関心をお持ちの経営者、管理者、関連自治体や関係機関の方々の積極的なご参加をお待ちしています。



新鋭経営会 会長
豊田政男
(大阪大学名誉教授)

プログラム

- | | | | | |
|-------------|--|-------------|------|---------|
| 13:15～13:25 | 開催挨拶・新鋭経営会の目指すものとその活動 | 新鋭経営会 | 会長 | 豊田 政男 |
| 13:25～14:15 | 特別講演 花王（株）研究開発部門 研究主幹/研究戦略・企画部部長
よきモノづくりとグローバル規制の潮流
～ 学際的リスク学とレギュラトリーサイエンス | | | 藤井 健吉 氏 |
| 14:15～14:50 | 講演① 興研（株）
「世の中にない」「真に役立つ」を追求
マスク屋からCHS（クリーン・ヘルス・セフティ）で社会に貢献 | 代表取締役社長 | | 村川 勉 氏 |
| 15:05～15:40 | 講演② （株）伊藤金属製作所
やっぱり「人が基軸」経営
～まだまだ続くモノづくり新価値創造への挑戦～ | 代表取締役 | | 川崎 恭子 氏 |
| 15:40～16:15 | 講演③ （株）鶴見製作所
顧客との共創
鶴見製作所が描くサプライチェーン・バリューチェーンの変革 | 取締役 | | 辻本 晃利 氏 |
| 16:15～16:50 | 講演④ アスカカンパニー（株）
新鋭経営会での学びの実践 | 代表取締役 兼 CEO | | 長沼 誠 氏 |
| 16:50～16:55 | 閉会挨拶 | 新鋭経営会 | 会長代行 | 宇山 浩 |

(1) 花王（株） 研究開発部門 研究主幹／研究戦略・企画部部長 藤井 健吉 氏

よきモノづくりとグローバル規制の潮流 ～学際的リスク学とレギュラトリーサイエンス

本講演では、グローバルに加速する規制制度の変化を背景に、日本の「よきモノづくりと国際競争力」の根幹にあるリスクファインディングとレギュラトリーサイエンスの重要性を検討する。グローバル規制強化と解決志向性の国際調和、Maximum with Minimumの考え方に基づくサステナブル商品開発方針など、技術と倫理、制度の接点に立つ産業界の責任と可能性について考察したい。



(1) 興研（株） 代表取締役社長 村川 勉 氏

「世の中にない」「真に役立つ」を追求 マスク屋からCHS（クリーン・ヘルス・セフティ）で社会に貢献

産業用の防じんマスクからスタート。マスクの持つ機能であるクリーン、ヘルス、セーフティに関わる技術を深く追求することで、社会に貢献することを目指して参りました。技術開発のキーワードは「世の中にない」「真に役立つ」にチャレンジし続けること。研究開発から事業化へのプロセスには「魔の川、死の谷、ダーウィンの海」の3つの障壁があると言われています。「魔の川、死の谷」までは自分との戦い。ブランド力も経営資源も限られる中小企業にとって最も手強いのが、市場との戦いとなる「ダーウィンの海」。

これらに挑み続けている弊社の取り組みについて、お伝えさせていただきます。



(2) (株) 伊藤金属製作所 代表取締役 川崎 恭子 氏

やっぱり「人が基軸」経営 ～まだまだ続くモノづくり新価値創造への挑戦～

創業以来、時代に求められる技術を製品に寄せ、提供し続けて90年。機械加工のみならず、樹脂成型、プレス、溶接、研磨、組立、設備設計開発など、多くのソリューションでお客様のご要望に応えてきました。近年、モノづくりの高付加価値化が求められ、生産工程のIoT化、AI、ロボット技術の導入が進む中でも、人との共存は欠かせません。「仕事も一生懸命、遊びも一生懸命」で多様化する人材に向き合い、2035年創業100周年までの10年間の企業戦略と社員ひとりひとりを尊重したキャリアアップの取り組みについて、紹介させていただきます。



(3) (株) 鶴見製作所 取締役 辻本 晃利 氏

顧客との共創 鶴見製作所が描くサプライチェーン・バリューチェーンの変革

鶴見製作所は、水を守り、コントロールする技術を提供しています。カスタマーリレーションシップを大切に、社会基盤を支える存在として進化を続けてきました。現在では、水中ポンプのリーディングカンパニーとして国内のみならず、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど世界各国で市場展開を行っています。2024年に100周年を迎え、次の100年に向けて、カスタマーリレーションシップを進化させ、グローバルポンプメーカーとしての確固たる地位を築くことを目指しています。その実現に向け、サプライチェーン・バリューチェーンの変革を推進しており、これらの取組についてご紹介いたします。



(4) アスカカンパニー（株） 代表取締役 兼 CEO 長沼 誠 氏

新鋭経営会での学びの実践

新鋭経営会で多くの皆様と様々な場所で学び、沢山のキーワードに刺激を得て、それらを自社の経営に変化を加え成長をさせて頂きました。その一つのキーワードには「魅力企業」があり、自身の思想の底流に潜む言葉となっています。これまでお世話になりました新鋭経営会の皆様への感謝の気持ちと共に、このフォーラムでプラスチック成形加工をコアビジネスにしたアスカカンパニーの小さな魅力から事業承継取り組みなどをお伝えさせていただきます。

